

区自治協議会提案事業 事業評価書

北区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	福島潟の魅力発信事業 【事業費予算 1000千円】
事業目的・概要	福島潟のラムサール条約登録に向け、条約理念等への理解を促すために取り組み、水辺環境の保全と活用に繋げる。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>○福島潟と新潟医療福祉大学への視察研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事が進む福島潟と、展示をリニューアルした水の駅「ビュー福島潟」、福祉や健康を専門とする区内大学(新潟医療福祉大学)への視察研修を行った。 研修日時:平成30年5月25日(金)10:00～15:00 視察場所:水の駅「ビュー福島潟」のリニューアル展示、福島潟堤防付近、新潟医療福祉大学キャンパス・学生寮、南浜のウォーキングコース <p>○福島潟に棲む河童のユウタを主人公としたファンタジー『河童のユウタの冒険』(斎藤惇夫著)にちなみ、福島潟の多角的な活用を検討。新潟の潟や妖怪伝説についての講演、子どもたちが潟舟体験を基に描いた河童のイラストの紹介などワークショップが開催され、部会員が参加して意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みずつち座談会「福島潟の“河童のユウタ”に会おう」 (平成30年8月19日 水の駅「ビュー福島潟」) 登壇者:金井田英津子(装幀挿画家)、高橋郁丸(新潟県民俗学会理事)、大熊孝(新潟大学名誉教授・「ビュー福島潟」名誉館長) ※部会員が参加し作品の活用を提案。 <p>・シンポジウム「河童のユウタの冒険と福島潟」 (平成30年11月25日 水の駅「ビュー福島潟」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※パネルディスカッションに参加した若尾部会長が物語の活用について提案 登壇者:斎藤惇夫(『河童のユウタの冒険』著者)、金井田英津子(装幀挿画家)、小川英爾(角田山妙光寺前住職)、高橋郁丸(新潟県民俗学会理事)、大熊孝(新潟大学名誉教授・「ビュー福島潟」名誉館長)、若尾明弘(自然文化部会長) <p>○「ユウタの棲家」の原画及び巨大タペストリーを水の駅「ビュー福島潟」に展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語に登場する「ユウタの棲家」(金井田英津子画)の原画を額装 ・「ユウタの棲家」の原画を大きくしたタペストリーを制作、6階ホールに設置 <p>○ラムサール条約の啓発用パネル、パンフレットを制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境政策課の協力により、国内のラムサール条約登録湿地や、福島潟の取り組みを紹介するパネルを作成し、水の駅「ビュー福島潟」などで展示した。 ・ラムサール条約やその理念と、登録をめざす福島潟について概説したパンフレットを制作し、配布した。
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>○北区の自然資産、福島潟のラムサール条約登録に向けた機運醸成のため、水辺環境の保全と活用をうたった条約理念など分かりやすく情報を伝え、理解を深めることができた。</p> <p>○福島潟に棲むとされる河童のファンタジーを活用し、子どもたちにも分かりやすい物語を通じて、福島潟の自然環境の保全と活用の大切さを周知させることができた。</p> <p>○福島潟に棲むとされる「ユウタの棲家」の原画と、原画を拡大したタペストリーを制作し、水の駅「ビュー福島潟」に展示することで、新たな視点から福島潟の魅力を伝えることができた。</p> <p>○福島潟などへの視察研修を通じ、福島潟の治水事業や潟の魅力を理解し、ウォーキングコースの検討等、新たな魅力発信と健康増進につながる方策について、考えることができた。</p>
備考	